

各社テスト実態分析結果とその使い方 ～ 自社のテスト標準の作り方を例として ～

NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会
鈴木三紀夫

自己紹介

委員会等

- NPO法人 ソフトウェアテスト技術振興協会(ASTER) 理事
- 日本ソフトウェアテスト資格認定委員会(JSTQB) 技術委員会 副委員長
- ソフトウェアテストシンポジウム(JaSST) 東京 実行委員
- 日本科学技術連盟 ソフトウェア品質委員会(SQiP) ステアリング委員
- ソフトウェア品質知識体系(SQuBOK) 策定部会
- ISO/IEC JTC1/SC7 WG26(ソフトウェアテスト) 国内委員会 エキスパート
- 情報サービス産業協会(JISA) 要求工学知識体系策定WG
- 派生開発推進協議会 運営委員

雑誌

- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.2「三色ボールペンで読む仕様書」
- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.3～5「マインドマップから始めるテスト設計」
- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.6～7「テストエンジニアのためのデータモデリング入門」
- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.7～8「シナリオアプローチによる仕様分析」
- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.4～9、総集編「ソフトウェアテスト技法道場」
- ソフトウエア・テスト PRESS Vol.10「テスト計画書のアンチパターン」

Web

- テストエンジニアの視点で読み解く「発注者ビューガイドライン」(gihyo.jp)
- 新人注目！ テストを極める最初の一步(gihyo.jp)
- テストリーダへの足がかり, 最初の一步(gihyo.jp)
- だれも教えてくれなかった外部設計の「極意」(ITPro)
- Wモデルに関する悩み相談(ソフトウェア品質の本音、SQiP)

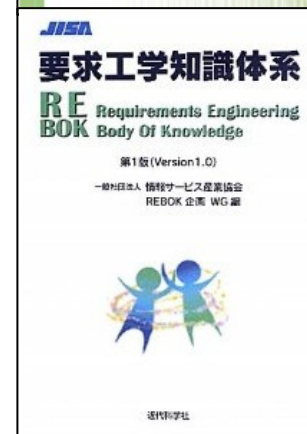
自己紹介

• 書籍

- マインドマップから始めるソフトウェアテスト(共著)
- ソフトウェアテスト教科書 JSTQB Foundation(共著)
- ソフトウェアテスト入門 押さえておきたい<<要点・重点>>(共著)
- 発注者ビューガイドラインに学ぶ失敗しない外部設計(共著)
- 高信頼化ソフトウェアのための開発手法ガイドブック(共著)
- 要求工学知識体系(共著)

• 講演

- Using MindMap for Software Testing Activities
(2007 ASTA Software Testing Conference & Tutorials (KOREA))
- 三色ボールペンとマインドマップの活用 (JaSST'07 Osaka)
- テストをもっと創造的に 分析・設計エクササイズ (JaSST'08 Sapporo)
- マインドマップによるテストの分析と設計 (JaSST'09 Shikoku)
- マインドマップを使ったテスト分析 & テスト設計 (JaSST'09 Tokai)
- Wモデルの実践を目指して (SQiPシンポジウム2011)
- 日本科学技術連盟 SQiP研究会 ソフトウェア工学演習コース 講師(2007~11)
- 日本科学技術連盟 SQiP研究会 ソフトウェアテスト演習コース 講師(2009~11)
- 香川大学 特別講座 エンタープライズシステムの品質保証について(2009)
- 高品質ソフトウェア技術交流会(QuaSTOM) 講師(2011)
- その他、企業のオンサイトでの講演多数



工程

- SLCPで定めるテスト工程
 - 1.6.7 ソフトウェアコード作成およびテスト
 - 1.6.8 ソフトウェア結合
 - 1.6.9 ソフトウェア適合性確認テスト
 - 1.6.10 システム結合
 - 1.6.11 システム適合性確認テスト
 - 1.6.12 ソフトウェア受入れ支援

対象者

- 標準化に関わる人
- プロセス改善に関わる人
- 全体テスト計画に関わる人

課題

- 本セミナーは、
たくさんあるテストケースを削減するのではなく、
「テストの抜け漏れを無くしたい」
という課題に対して焦点を当てています。

目的

- 自社またはチームにおける
テスト標準を作成し、改善できるようになるため。

- テスト計画における
テストアプローチの考え方が分かるようになるため。

目標

- 自社またはチームにおける
テスト標準を検討できるようになる。
- テスト計画のレビューにおいて
計画の一部であるテストアプローチに関して
指摘ができるようになる。

範囲

- 第6章 テスト網羅性の高度化技法
 - 6.4 エンタプライズ系代表企業十社のテスト実態分析
 - 6.5 テスト実態分析結果の使い方

進行

- 演習中心で進めます。
- 席の周りの人たちと
会話をさせていただくこともあります。

心構え

- 「情報収集のために参加する」よりも、
「この場でテスト標準を作る／改善する」
または、
「テストアプローチのレビュー観点の
一つを身につける」
という心構えで。

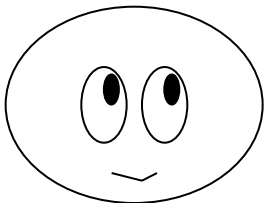
目次

- 現在の状況
- 各社のテスト一覧表
- テスト観点表
- まとめ

現在の状況

テスト標準とテスト計画

1. 皆さんの組織には、
「テスト標準」がありますか？
2. 皆さんのチームは、
「テスト計画」を作成していますか？



テスト標準とテスト計画

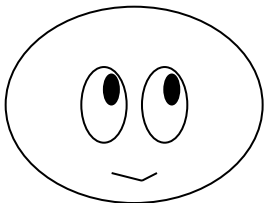
$\phi(. . .)$

テスト標準

1. 「テスト標準」には、

どんな内容が書かれていますか？

- テスト標準がある組織は、その内容を書いてください。
- テスト標準がない場合は、どんな内容があればよいのかを書いてください。



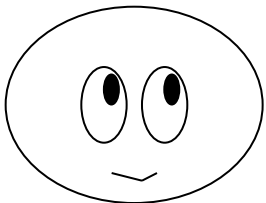
テスト標準

$\phi(\dots)$

テストの種類

1. どのくらい「テストの種類」があると考えますか？

- 自社またはチームで関わる「テストの種類」を、挙げてください。
- その「テストの種類」を近所の人と見せ合ってください。



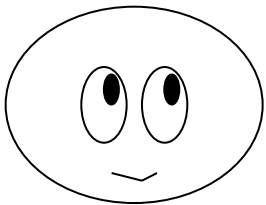
テストの種類

$\phi(\dots)$

テストアプローチ

1. さまざまなテストをどのように行いますか？

- － テスト計画において、どのように表現していますか？
- － さまざまなテストを、どの工程に割り付けていますか？



テストアプローチ

$\phi(. . .)$

開発工程とテストレベルとテストタイプ

※当日、お伝えします。

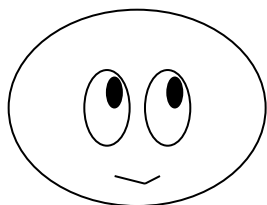
開発工程とテストレベルとテストタイプ

※当日、お伝えします。

各社のテスト一覧表

テストタイプの名称

1. 各社テスト一覧表を見て、
自社またはチームで行っているテストと
同じと思われるけれども、
異なる名称のテストはありますか？
— それはどんなテストですか？

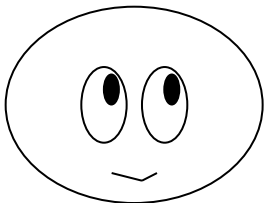


テストタイプの名称

$\phi(. . .)$

取り組みたいテストタイプ

1. 各社テスト一覧表を見て、
自社またはチームに取り込みたい、または、
足りないテストはありますか？
 - － それはどんなテストですか？
 - － 全部でどれくらいのテストになりましたか？



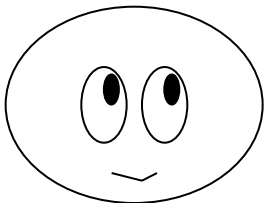
取り組みたいテストタイプ

$\phi(. . .)$

テスト観点表

テスト観点表への割付

1. 自社またはチームで実施すべきテストを
テスト観点表に割り付けてください。
 - － 別紙のシートを使ってください。



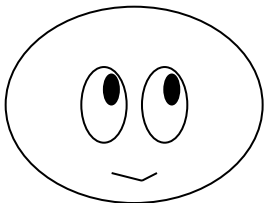
テスト観点表への割付

$\phi(. . .)$

テスト観点表のセルフレビュー

1. 作成したテスト観点表を見てください。

- テストの数が多いところ、少ないところの理由は分かりますか？
- あるテストタイプで複数の特性をテストする場合、問題になることはありませんか？



テスト観点表のセルフレビュー

$\phi(. . .)$

まとめ

本演習で学んだこと、得られた気づきなど

本演習で学んだこと、得られた気づきなど

質疑応答

ご清聴ありがとうございました